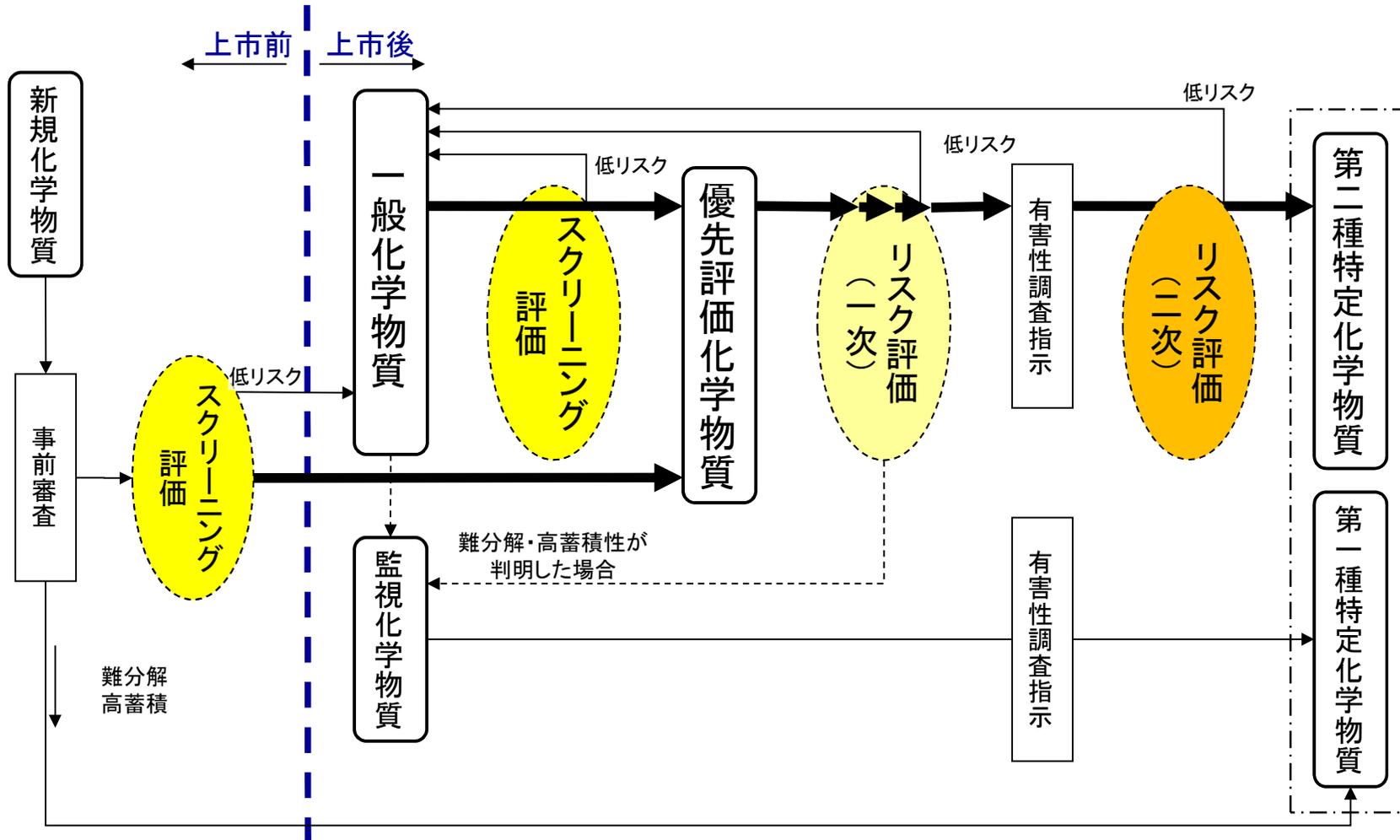


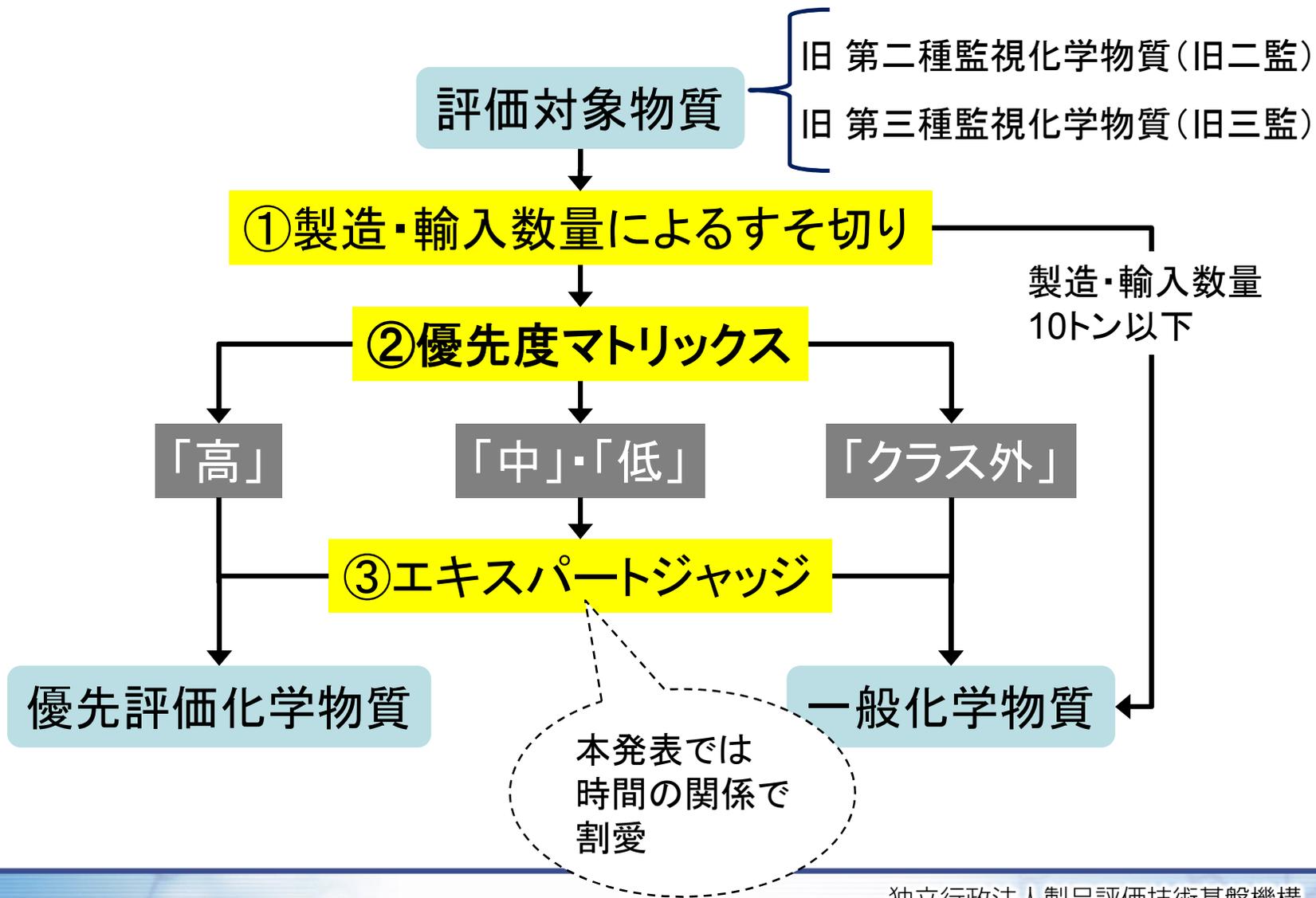
# 化審法における スクリーニング評価結果(その1)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構  
化学物質管理センター リスク評価課

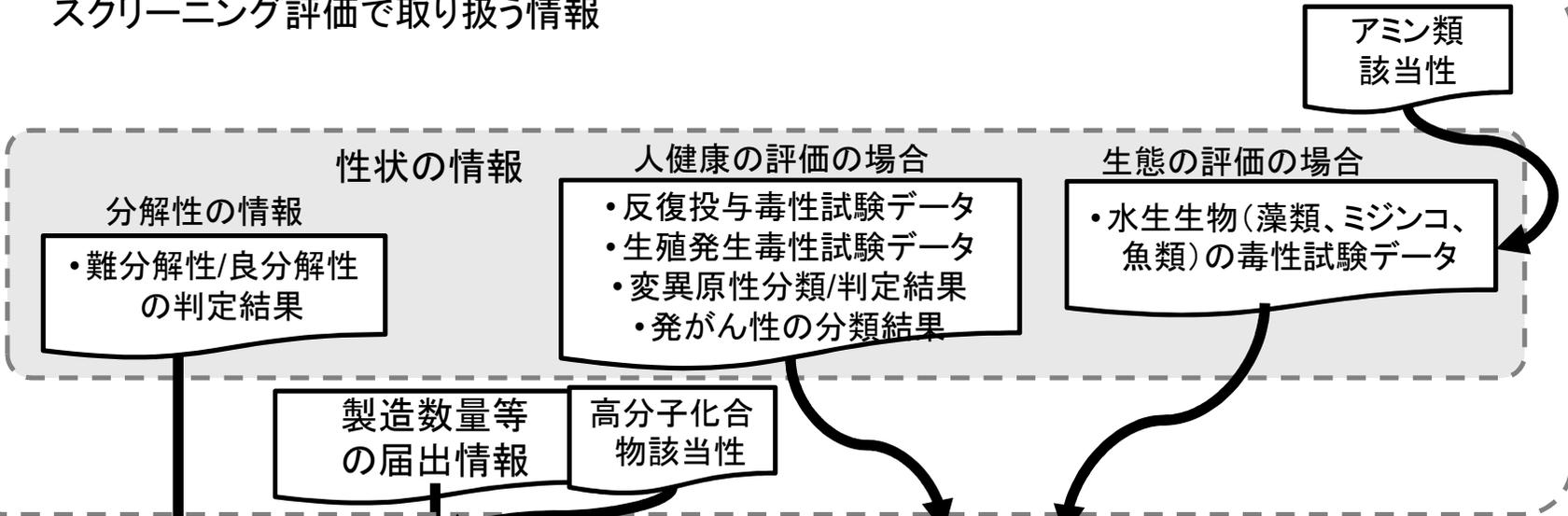
高橋宏和, 宮坂宜孝※, 山田亜矢, 中村淳, 坂井るりこ,  
光崎純, ○平井祐介, 村田麻里子, 澤田光博

※ 現在,経済産業省





スクリーニング評価で取り扱う情報



製造数量等の届出情報

高分子化合物該当性

全国総排出量 (推計値)

		有害性クラス				
		強	←→			弱
		1	2	3	4	外
暴露クラス	大	1	高	高	高	高
		2	高	高	高	中
		3	高	高	中	中
		4	高	中	中	低
	小	5	中	中	低	低
		外	クラス外			

有害性の項目	有害性				クラス外
	強			弱	
	1	2	3	4	
一般毒性		$D \leq 0.005$ GHS区分1	$0.005 < D \leq 0.05$ GHS区分2	$0.05 < D \leq 0.5$	$D > 0.5$
生殖発生毒性		$D \leq 0.005$	$0.005 < D \leq 0.05$	$0.05 < D \leq 0.5$	$D > 0.5$
変異原性	GHS区分1A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHS区分1B,2</li> <li>・化審法「強い陽性」</li> <li>・化管法「クラス1」</li> <li>・強弱不明の陽性</li> </ul>	化審法の変異原性試験のいずれも陽性※1	化審法の変異原性試験のいずれかで陽性※1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHS区分外</li> <li>・化審法の変異原性試験のいずれも陰性</li> <li>・in vivo試験で陰性※2</li> </ul>
発がん性	GHS区分1A	GHS区分1B, 2			GHS区分外

**D: 有害性評価値 = NOEL等 / 不確実係数積 (mg/kg/day)**

※1 軽微な陽性、強い陽性を除く

※2 in vitroで陽性がある場合、個別判断

1	2	3	4	クラス外
<b>PNEC ≤0.001</b>	<b>0.001&lt; PNEC ≤0.01</b>	<b>0.01&lt; PNEC ≤0.1</b>	<b>0.1&lt; PNEC ≤1</b>	<b>PNEC &gt; 1</b>

**PNEC: 無影響濃度 (mg/L) = 最小毒性値 / 不确实係数積**

採用する毒性値		種間外挿のUF	急性から慢性へのUF(ACR)	室内試験から野外へのUF	不确实係数積UFs
3つの栄養段階の慢性毒性試験結果がある場合の最小のNOEC		—	—	10	10
2つの栄養段階の慢性毒性試験結果がある場合の小さいほうのNOEC		5	—	10	50
1つの栄養段階の慢性毒性試験結果がある場合のNOEC		10	—	10	100
3つの栄養段階の急性毒性L(E)C50がある場合の最小のL(E)C50		—	ACR	10	10 × ACR
慢性毒性試験結果が欠けている栄養段階の急性毒性値が揃わない場合の小さいほうのL(E)C50		10	ACR	10	100 × ACR
ACR (Acute Chronic Ratio)	藻類		/	/	/
	ミジンコ	アミン類	/	/	/
		アミン類以外	/	10	/
	魚類		/	100	/



大気:  $2,500 \times (3 \times 10^{-5})$

水域:  $2,500 \times (4 \times 10^{-6})$

$$\text{全国推計排出量} = \sum_{\text{事業者}} \{(A+B) + \sum_{\text{用途}} (C+D)\}$$

大気:  $1,500 \times (2 \times 10^{-2}) + 1000 \times 0.5$

水域:  $1,500 \times (3 \times 10^{-4}) + 1000 \times 0.5$

$$= (0.8+0.01) + (500+30+500+0.5)$$

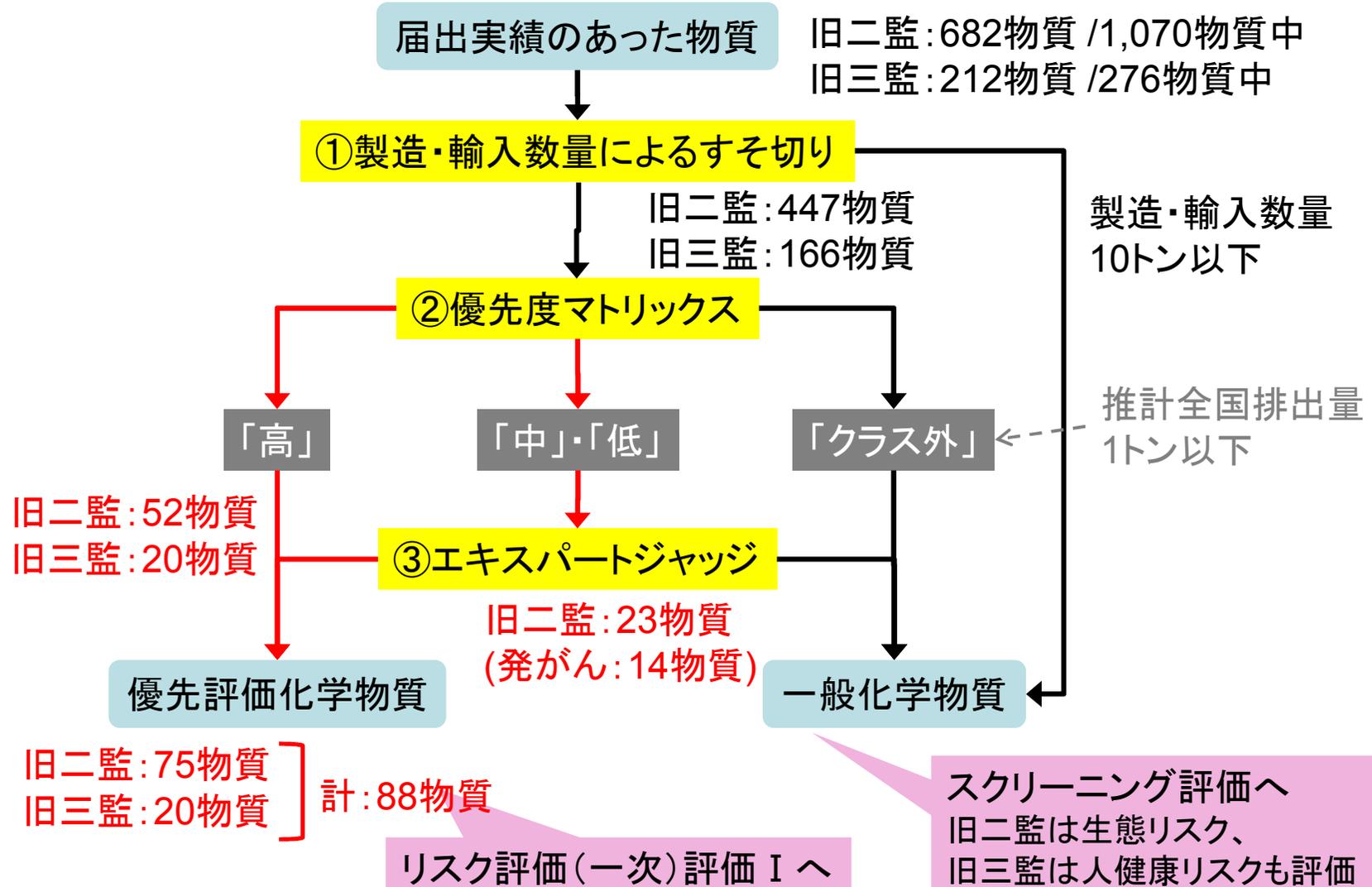
$$= 1,031.31 \text{ t}$$

暴露クラス	1	10,000t超
	2	1,000t超～10,000t以下
	3	100t超～1,000t以下
	4	10t超～100t以下
	5	1t超～10t以下
	外	1t以下

		有害性クラス				
		1	2	3	4	外
暴露クラス	1	1	6	0	1	0
	2	3	11	1	1	0
	3	1	27	3	4	1
	4	1	30	21	5	0
	5	1	41	28	11	0
	外	0	90	88	18	0

4,4'-ジアミノ-3,3'-ジクロロジフェニルメタン

ペルフルオロオクタン酸(PFOA)は、製造・輸入数量が10t以下



- ✓ 排出係数見直しのための排出実態に関する研究
- ✓ 環境中化学物質の一斉分析手法の化学物質管理制度への適用方法の開発
- ✓ 放射性物質の環境中挙動解析に基づく化学物質の環境中挙動の解析への応用
- ✓ わが国の陸域生態系における化学物質の蓄積経路の解明

「スクリーニング評価結果(その2)」は、9/23-24の第18回バイオアッセイ研究会・日本環境毒性学会・合同研究発表会@熊本で発表予定です。

>> [トップ](#) >> [化学物質審査規制法](#) >> [インフォメーション](#) >> 一般化学物質等の製造・輸入数量(22年度実績)について(公表)

| インフォメーション

### 一般化学物質等の製造・輸入数量(22年度実績)について(公表)

一般化学物質等の製造・輸入数量(22年度実績)について(公表)

平成24年3月30日

経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質安全室

一般化学物質等の製造・輸入数量等(22年度実績)について、別添のとおり集計値を公表します。  
本リストにおける化学物質の名称は、化審法附則第2条に定める「既存化学物質名簿」に掲載している化学物質についてはその名称を、それ以外のもの(化審法に基づく新規化学物質の審査を経て名称を公示したもの)については、官報公示名称を記載しています。

- ・ Excel [一般化学物質の製造・輸入数量\(22年度実績\)](#)
- ・ Excel [優先評価化学物質の製造・輸入数量\(22年度実績\)](#)
- ・ Excel [監視化学物質の製造・輸入数量\(22年度実績\)](#)

化審法とは +

届出・申出・報告・手続 +

インフォメーション -

- ・ [物質の指定等に関する公示一覧](#)
- ・ [化審法におけるリスク評価](#)
- ・ [データ・統計](#)
- ・ [審議会情報](#)
- ・ [GLP制度](#)
- ・ [パブリックコメント情報](#)
- ・ [説明会開催情報](#)
- ・ [その他の公表資料](#)

[Japanチャレンジプログラム](#) +

[Q&A](#) +

・ [リンク](#)

化審法における一般化学物質等の製造・輸入数量が、  
経済産業省のHPから公開されています。